

研究レポート No.716 岩手県農業研究センター

畑土壌の30年間の変化 ～野菜畑の土壌養分は過剰蓄積が続いている～

【1 成果の概要】

農業研究センターでは昭和54年度から5年おきに同じ畑ほ場の土壌の化学性について調査をしています。今回、昭和54年度から現在まで30年間の変化をとりまとめました。

- (1) 畑土壌の pH はどの作物でも 30 年間おおむね維持されています。
- (2) 野菜畑の土壌中のリン酸やカリは 30 年間増加し続けています。野菜以外の作物では緩やかに増加していますが、牧草地ではカリが 30 年間低下傾向にあります。
- (3) 露地野菜畑では、リン酸が 50～60%、カリは 60～70%のほ場で過剰に蓄積しています。

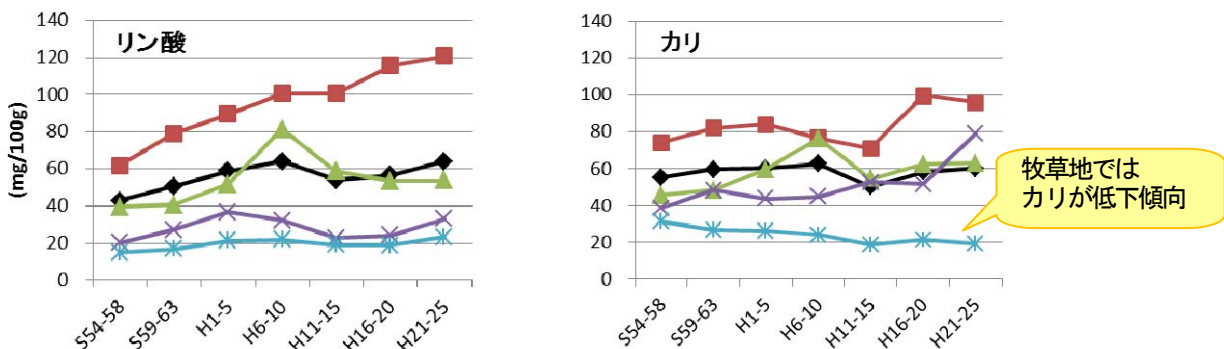
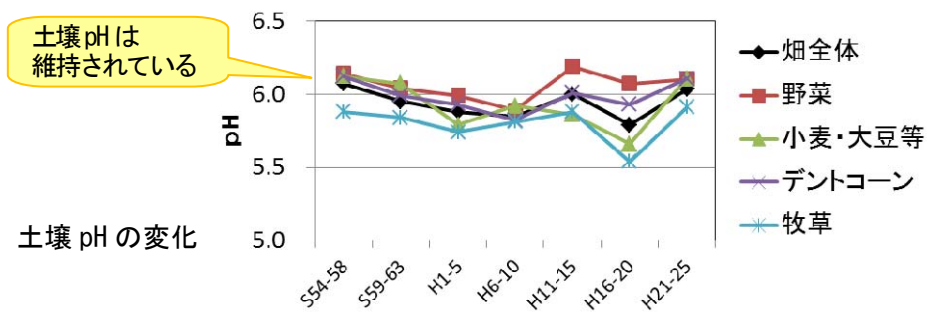


図2 土壌中のリン酸とカリの変化

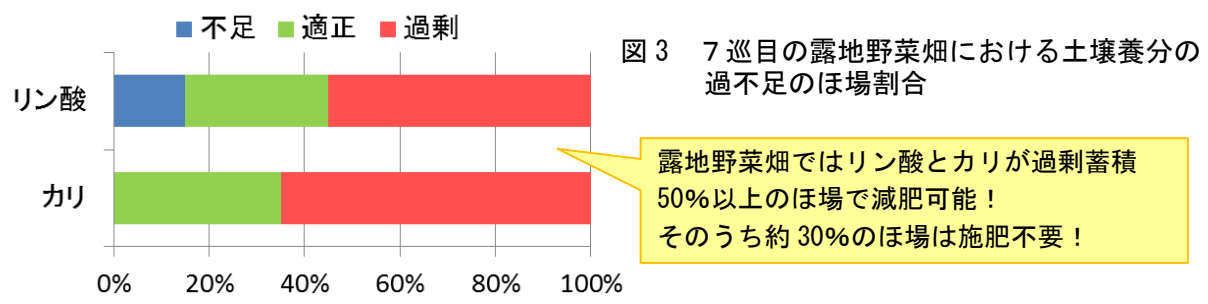


図3 7巡目の露地野菜畑における土壌養分の過不足のほ場割合

【2 留意事項】

本成果は県内全体の傾向を示すものですので、各地域の土壌化学性を評価する場合は各地域で実施している土壌診断のデータも考慮してください。